

英国金融政策（2026年2月）

市場予想通り政策金利を3.75%に据え置き

2026年2月6日

票決は5対4の僅差、3月に追加利下げへ

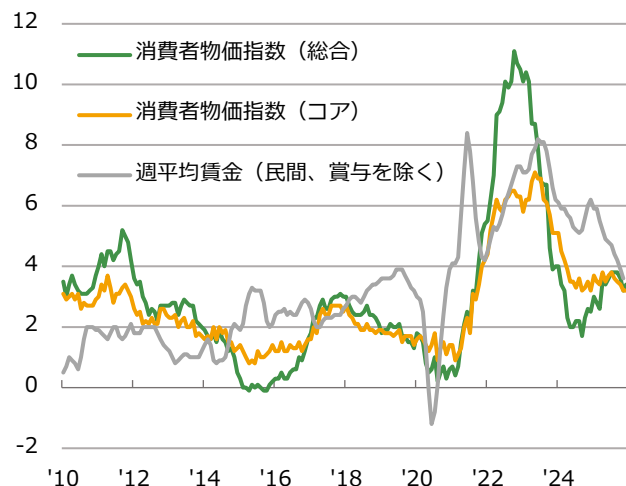
BOE（イングランド銀行）は2月4日（現地、以下同じ）に終了した金融政策委員会で、政策金利を3.75%に据え置くことを決定し、5日に発表しました。据え置きは市場予想通りでしたが、票決が5対4の僅差であったことがサプライズで、市場は英金利低下、ボンド安で反応しました。前々回11月の据え置き、前回12月の利下げとも票決は5対4でした。ベイリー総裁以外の8名の各委員については据え置きか利下げかに係る判断は3会合とも同じで、見解が二分されるなか、総裁の判断が結果を左右しています。

金融政策報告書では景気、インフレ見通しが下方修正されました。特にインフレについては、昨年11月に発表された予算案にも起因するエネルギー価格の下落を主因に直近の3.4%から今年の4-6月期には2.1%へ急低下し、その後予測期間を通じて2%を上回ることとはなく、予測期間末の2029年1-3月期までの1年間は2%で安定するとの見通しです。これは市場が織り込む約2回の追加利下げを前提にしています。

声明文では、インフレの上振れリスクは軽減した一方、需要の弱さや労働市場の弛みに起因するインフレの下振れリスクは残ったままとし、政策金利の見通しについて、前回の「緩やかに低下」から「更に引き下げられる」へと表現を強めています。実際、直近の失業率は5.1%とコロナ禍中の最高に接近しており、週平均賃金の伸びも大幅に鈍化しています。これら経済指標の弱さを改めて確認した上で、3月に追加利下げを決定すると見込みます。また、利下げ到達点に係る当社の予想を3.5%から3%へ引き下げます。

英国の消費者物価指数と週平均賃金

(前年同月比、%) (2010年1月～2025年12月)

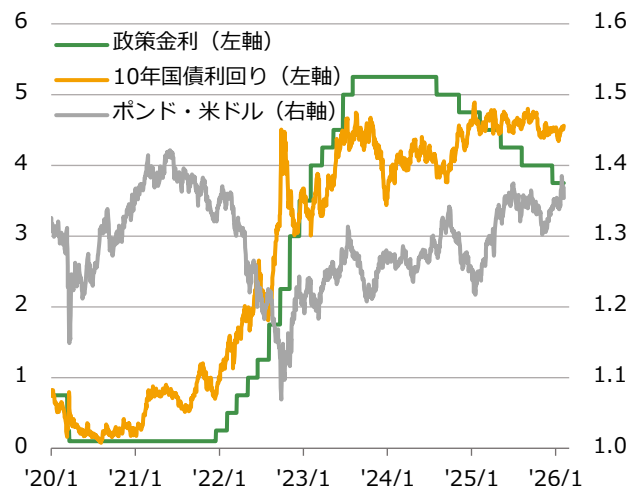


※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列
※週平均賃金は3カ月移動平均で2025年11月まで

(出所) 英国統計局

英国の金利と為替

(%) (2020年1月初～2026年2月5日) (米ドル/ポンド)



※政策金利は発表日ベース

(出所) ブルームバーク

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント